

2024年全日本選抜柔道選手権大会

復活の優勝

2024 世界選手権出場内定

女子78kg級

優勝

はまだ
濱田 尚里
1等陸尉

令和6年4月6日（土）から4月7日（日）までの間、福岡国際センターにて「2024年全日本選抜柔道選手権大会」が開催され、本校からは濱田尚里1等陸尉以下5名が参加した。本大会は5月に実施される2024アブダビ世界選手権の選考を兼ねた重要な大会である。



1日目に男子73kg級に出場した内村秀資2等陸曹は、1回戦に強敵古賀選手（慶應義塾高校教員）と戦い終了3秒前に裏投で技ありを決め接戦を制した。準決勝では田中選手（パーク24株式会社）に1分13秒に隅返、3分33秒に払い腰で1本勝ちと力を見せ決勝へ進んだ。決勝では田中選手（筑波大学）に対し1本負けと惜しくも敗れた。

試合後、内村2曹は「実力及ばず優勝することができなかったが、次回は必ず優勝したい。」と語った。

内村2曹のこれからの活躍に期待したい。

2年ぶり 4度目の優勝

2日目に女子78kg級に出場した濱田1尉は、1回戦の川崎選手（環太平洋大学）に2分9秒立技と寝技の合わせ技1本を決め安定した戦いを見せた。続いて準決勝は和田選手（パーク24株式会社）に3分46秒で横四方固の1本勝ちを決め、持ち前の技を活かし勝ち上がると決勝では池田選手（東海大学）に対し開始43秒で小外刈の技ありを決め、終始有利に試合運び見事優勢勝ちし、2年ぶり4度目の優勝を決めた。

試合後、濱田1尉は「絶対優勝したいと臨んだ大会なので勝てたことはとても嬉しい。今までで一番嬉しい優勝。自分の強い時の柔道をまた出せるように頑張りたい。」と述べた。

本優勝により世界選手権出場が内定した濱田1尉の健闘を祈る。

終了3秒前に裏投を決める内村2曹

